

PORT SAPIE

ほろとさぴえ

Vol. 19
2006.July

ほろとさぴえ
2006.July Vol.19

函館大学広報誌VOL.19 発行/函館大学広報誌編集事務局

特集 いま社会に示す 「教育の成果」

平成17年度就職実績

昨年を上回る92.2%の内定率を確保

平成19年度入試制度

函館大学へのアプローチ図解入試制度



1年間の主な日程

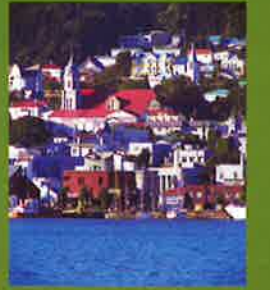
- 5月 20日 公務員ガイダンス(以降毎週土曜日:8日間)
- 22日 AO入試<A日程>面接申込受付開始(~9/30)
第1回就職ガイダンス(3年次:以降20回実施)
- 6月 1日 放送大学函館学習室開設(図書館内)
- 3日 英語検定受験対策講座(第1回)
- 7日 インターンシップガイダンス
- 10日 オープンキャンパス<第1回>
- 20日 文化講演会(講師:横浜市教育委員会教育委員 義家弘介氏)
- 23日 韓国語講座(~8/11 毎週金・8回)
- 7月 3日 交換留学生修了式・派遣留学生許可書交付式
- 6日 協学会地区懇談会(新潟)
- 23日 オープンキャンパス<第2回>
- 27日 前期授業終了
- 28日 前期末試験開始(~8/5)
- 8月 7日 夏期休業開始(~9/19)
- 8日 短期語学研修(~9/9)
- 14日 3年次インターンシップ研修開始(~9/12)
- 9月 3日 協学会地区懇談会(函館)
- 4日 協学会地区懇談会(札幌・青森)
- 5日 協学会地区懇談会(旭川・室蘭・仙台)
- 6日 協学会地区懇談会(東京)
- 19日 学園創立記念日
- 20日 後期授業開始
- 10月 1日 就職内定公示
- 2日 3年次就職活動決起大会
AO入試<B日程>面談申込受付開始(~12/22)
- 7日 英語検定受験対策講座(第2回)
- 8日 オープンキャンパス<第3回>
- 13日 大学祭(~10/15)
- 25日 試験入試(特別奨学生選考を含む)<A日程>
編入学入試<A日程>
- 11月 18日 3年次就職合宿セミナー(~11/19)
- 24日 推薦入試<A日程>
- 12月 16日 冬期休業開始(~1/9)
本学主催業界研究会・就職懇談会(函館)
- 1月 9日 AO入試<C日程>面談申込受付開始(~3/6)
- 10日 後期授業再開
- 31日 卒業論文提出締切(1/29~)
- 2月 1日 後期授業終了
試験入試(特別奨学生選考を含む)<B日程>
社会人入試・編入学試験<B日程>
- 2日 後期末試験(~2/10)
- 3月 1日 春季休業(~3/31)
- 9日 試験入試(特別奨学生選考を含む)<C日程>
推薦入試<B日程>
- 16日 第39回卒業式

函館大学 広報誌編集事務局

〒042-0955 函館市高丘町51番1号

TEL(0138)57-1181 FAX(0138)59-4575

「ほろとさびえ」は、ラテン語のポルトス（港や門を意味します）とサビエンティス（知恵や英知を意味します）を参考にしてつけられた題名です。皆様のご支援と叱咤激励により、親しみやすさのなかにも、大学らしい英知の香を漂わせる誌面づくりを心がけてまいります。



表紙：函館港から見た元町教会群

Contents

- 特集
いま社会に示す 教育の成果1
- FROM THE WORLD
今年度から教員の交換を実施
留学生数も大幅に拡大予定7
- 平成十七年度就職実績
昨年を上回る92.2%の内定率を確保9
- 平成十九年度入試制度
函館大学へのアプローチ図解入試制度11
- 出身校紹介
北から南から13
- OB訪問
駒澤大学附属苫小牧高等学校教師
打田 圭司さん15
- 函大ing Club Topics
男子ボウリング部悲願の全国制覇
京産大の十三連覇を阻む快挙16
少林寺拳法国際大会で
松井・上山組優勝、七戸・佐藤組は三位16
女子バスケットボール部
元立命館大学監督の高橋さんが就任17
ハンドボール道学生選抜チームに
函大から十四名選出、欧州遠征へ17
IT専攻塾のグループが
U-23プログラミングコンテストで優秀賞18
- キャンパスレポート
函館市の町づくりに熱意を持つ
学友会総務局長 重山 喜重くん19
涼谷 清治参事三十六年ぶりに母校・函大へ19
函大弁論部の原稿が函館新聞に掲載されました20
函大の聴講生
佐原文さん、みごと英検準一級に合格20
平成18年度の公開講座と17年度公開講座実績
平成17年度 学校法人野又学園決算書21
- 授業アラカルト
『実践ビジネス論』磯村 元史先生22

いま社会に示す 教育の成果

創造的実践により 存在感と信頼感を高める

昨年、新学科として「英語国際ビジネス学科」を開設し、商学科の専攻塾に「福祉ビジネス専攻塾」と「企業家養成専攻塾」を新設。さらに今年度は、「キャリア開発センター」や「放送大学函館学習室」を設けるなどの組織改革を行った函館大学。

いま目指すのは、教育の質を高め、学生のサービスを充実するとともに教育・研究成果を社会に還元し、大学の存在感と信頼感を高めることです。

創造的実践により 存在感と信頼感を高める

平成十五年の学長就任以来、様々な改善を進めてきた小笠原 愈学長。二



小笠原 愈学長

小笠原学長は、「教育の質を高め、これを学生に温かく、きめ細かに提供していくことはもちろん、地域社会へ還元していくことが、函館大学への評価を高め、存在感と信頼感をかちとっていく最善の策です」と言います。

その教育サービスの質を高めるために明確な目標設定に努めて、育てるべき人間像を、「他者と共に生きることを

年間での様々な改善は着実な成果を見せ、今年はその教育の成果を、教職員、学生、地域の諸活動を通して表現する年にした」と、学長の思い描くビジョンは、着実に前進しています。

学んで、感謝という心の深さ、広がりをも身につける「報恩感謝」。「知ることを学んで、専門的な知識・スキル、ビジネスの基本的マナー、国際センスを身につける」「常識涵養」。「なすことを通して、力強い意志と勇気、知的好奇心、問題解決能力などを身につける」「実践躬行」とし、キーワードとして、人間性、専門知識、スキル、問題発見・解決能力を創りました。これらを身につけた職業人・社会人を育てる「実学」教育を、さらに進めていくことを目標としました。

学生の諸活動を最大限に支援 地域への社会貢献活動もより多彩に

この「実学」教育がどのように行われているか、その成果を社会に広く表現すること。これが冒頭に述べた重点目標です。

学生の学修には、いろいろな形があ

U-20 プログラミング コンテスト 団体優秀賞受賞



経済産業省などが主催する「U-20プログラミングコンテスト」で、IT専攻塾の有志グループが、団体優秀賞（経済産業大臣賞）を受賞。このグループは、GPS携帯電話を利用した路線バスの発着時刻提供プログラムを開発。バスの現在位置と、バス停の到着時刻を予想するシステムです。審査員からも「拡張性のあるプログラム」との、高い評価を得ました。こうした学生の自主的な活動が、形となって評価されることは、他の学生はもちろん教職員にとっても大きな励みとなっています。



函館大学学生成果発表会

今年度掲げた、函館大学の重点目標は「創造的に構築している教育事業の成果を、教職員の社会貢献や学生の諸活動を通して表現し、存在感と信頼感に富む大学に高める」であります。

ります。大学の授業はもちろんですが部活動、資格取得、さらにはボランティア活動、コンテストへの応募など、学修の機会は無限です。

資格取得では、教員免許、簿記や、英語の検定・介護に関する資格など、着実に高位の合格実績が伸びています。

ポランティア活動では、福祉ビジネス専攻塾が高齢者福祉施設などへのボランティアを行っています。すし、小学校英語指導者育成講座の修了者が「函館児童英語研究会」を結成し、市内の小学校和幼稚園で英語活動のボランティアを行っています。また、IT専攻塾の有志グループが、経済産業省などが主催する「U-20プログラミングコンテスト」で団体優秀賞（経済産業大臣賞）を受賞するなど、学生の自主的な活動も成果として現れてきています。

そうした学生の表現活動を、最大限



ボランティア体験報告会

に支援しており、その機会として「函館大学学生成果発表会」、「ボランティア体験報告会」等を開催しています。

教員は、学生による授業評価や大学生活満足度調査を実施して学生が表現することに正対するとともに社会貢献活動として、従来からの公開講座をはじめ、教養講座（韓国語）の新設、産学官連携事業の実施、ゼミによる市内のマーケティング調査活動等をして、発表しています。また現在積極的に進めている高大連携も社会貢献の一環として、この研究成果を高校へ提供しているものです。さらに今年六月には、図書館内に「放送大学函館学習室」をオープンさせ、地域の放送大学登録学生並びに本学学生にも公開しています。

小笠原学長の言う「存在感と信頼感に富む大学」として、函館大学はその存在価値を確実に高めています。

教員養成の教育も充実 教員志望者の受け皿に

教員も急増 平成十七年度は九名。

函館大学では高校の商業・情報科
目、中学・高校の英語科目の教員免許

取得が可能です。一昨年度「教職教育センター」を開設し、教職志望学生に対し、教職課程の受講から教育実習、教員採用試験までを一元的にサポートする体制をスタートさせました。



一昨年度開設した「教職教育センター」

それによって、平成十七年度には、九名が教だんにたつことができました。科目別内訳は、商業七名、英語一名、情報一名となつています。地域別では北海道八名、青森県一名です。

ここ十年間では教員として教だんに立つ者は極めて少なかったことから、この事態を憂慮し、学生がより現実的な目標として教職を目指すためには、やはり実績を上げることが重要であると考えて、教職教育センターを立ち上げたのです。教職教育センターでは、学

長自らも講師となつて、教育者の養成に衰えぬ熱意を持つて当たっています。函館では、教員志望者が函館大学を受け皿にする傾向も増えてきています。最近の入学者の中には、明らかに入学時から教員を志望してくる学生が増加してきています。

小学校英語指導者養成講座 受講者が英語指導ボランティア

函館大学は、関東以北で唯一の「小学校英語指導者育成団体」に認定されています。この教育プログラムとして行われている、小学校英語指導者養成講座は今年度で三年目を迎えますが、過去二年間の講座受講で認定を受けた人々たちによって「函館児童英語研究会」が結成され、本学の関連校である幼稚園で「小学生の英語教室」を定期的に開催しています。

昨年度は、函館市教育委員会の協力を得ながら、小学校四校で「英語活動」を、幼稚園四園で「英語遊び」を行いました。本学からも、ドナルド・ミラー先生がゲストティーチャーとして協力するなどの、バックアップをしています。

小学校の英語活動は、平成十四年度から国際理解教育の一環として「総合的な学習の時間」で導入され始めましたが、今年三月の中央教育審議会の答申により、小学校五・六年生では週一時間の授業が、直近の年度より開始される見通しになりました。

教員採用試験に合格して 函大だからこそ 四つの教員免許が 取得できました



北海道常呂高校教員
進藤 真由美さん
(平成16年度卒業)

私が大学三年生から四年生になる春休みに、「教員採用試験対策講座」を受講したのが、本格的な勉強の始まりでした。ちょうど教職教育センターが開設された年だったので、小笠原学長先生をはじめ教職教育センターの先生方には、本当にたくさんの指導・アドバイスをいただきました。

なにより私自身が頑張ったことは、四つの教員免許を取得したことです。四つの免許とは商業、情報、中学校英語、高校英語です。採用に関しても、これらに有利に働いたと思います。やはり、自分の興味あることを学べる大学だからこそ、このように取得できたと思っております。そのために、大学にはとても感謝しています。みなさんも大変ですが、教員を本気で目指すならば、二つ以上の免許の取得に挑戦してみればいかがですか。自分のやりたいことをあきらめずしっかりと見据え、それに対して着実に前進することが大切だと思います。これから教員を目指す皆さんをはじめ、就職する皆さん、ぜひとも頑張ってください。



「小学生の英語教室」風景

「進む高大連携教育」 道外高校としては初 青森商業高校と連携

社会貢献活動の一環として函館大
学が進める高大連携教育が、着実に進

「函館児童英語研究会」の顧問、コ
ディネーターを務める、本学講師・田
中慶子先生は「小学校英語指導者には
以前に英語を勉強した人をはじめ、英
語学校の先生、さらに教員だった方な
どから、たいへん注目されています。特
に教員の再雇用の機会になるのではな
いかと思います」と、教育側とともに
学ぶ側にも大きな需要があると語って
います。

展しています。昨年十月には道内の八
雲高校と連携協定を結び、十一月から
は本学教員による出前授業(英語、商
業)や教員研修(教育課程)を実施しま
した。

さらに、今年五月には青森商業高校
と、道外の高校とは初の連携協定を結
びました。これで、函館大学と連携協
定を結ぶ高校は五校となります。

青森商業高校とは、まず今年度は本
学から情報処理資格試験の受験指導
の講師を派遣、ハンドボール部の共同
合宿、インターンシップ教育での協力
などを予定しています。さらに今後
は、青森商業高校の生徒が商品開発か
ら販売までを行う基礎理論の授業や
起業家養成教育「チャレンジショップ」
に、本学の学生も参加していくなどの
予定も盛り込んでいます。

小笠原学長が以前から構想してい
た、津軽海峡を中心とする青函圏を地
もととして意識し、そのうえで他地域
へと同心円的な広がりを、一つの形と
して実現していくことが着実に進んで
いるのです。

函館大学との連携高校

- 付属有斗高校、付属柏稜高校に加えて
- ・ 函館商業高校
- ・ 函館西高校
- ・ 知内高校
- ・ 八雲高校
- ・ 青森商業高校の五校



高校生を迎えて行われた「高大連携」の様子



本学の見学を訪れた高校生



真剣に授業に集中する高校生



青森商業高校との調印式



今年度から新たにスタートした「キャリア開発センター」

これまでの就職課を「キャリア開発センター」に改め、今年度からスタートしました。
従来から行っていた早期からの就

職指導を、より綿密なプログラムのもとに行うために、組織を改めたものです。
キャリア開発センターでは、入学から卒業まで、一貫したキャリアデザインや就職相談・指導を行い、例えば一年次には自己理解を促すためにSPIを実施し、学生一人ひとりの適性や関心を見いだし、それをもとに以後の指導に当たっていきます。二年次からは、さらに専攻塾や専門ゼミナールと連携しながら、個々の適性を伸ばし、就職につながる資料や情報を提供していきます。また、三年次からは実践的な就職指導プログラムを用意し、内定へと結びつけていきます。また、希望する職業を早期に想定しておく、それに必要な資格取得などを早い段階から準備を進められるなど、学生への具体的な支援が可能になります。

函館・精鋭塾



函館市内の若手経営者や後継者が集まる「函館・精鋭塾」の様子

平成十八年度からの新スタート

放送大学函館学習室（函館大学内）とキャリア開発センター

教育の質を高め、学生へのサービスを充実するよう二つの施設を創りました。

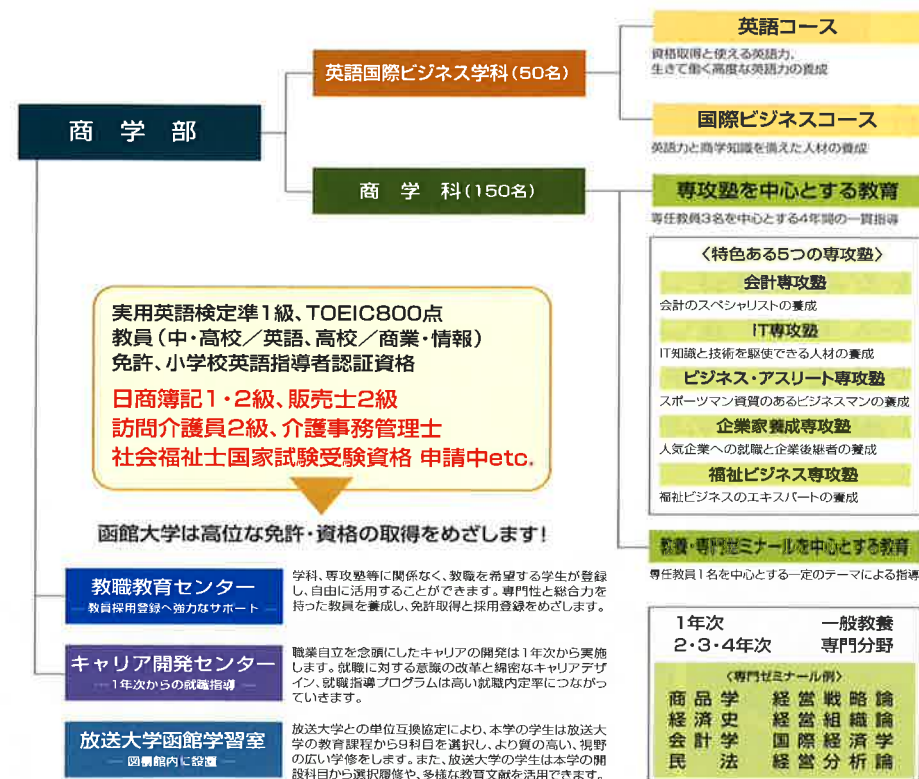
「放送大学函館学習室（函館大学内）」が六月にオープン

函館大学は一月に放送大学と単位互換協定を結び、今年六月に本学図書館内に「放送大学函館学習室（函館大学内）」をオープンさせました。

渡島、檜山管内の一五〇余名の放送大学登録学生は、函館大学の教育課程を特別科目等履修生として受講、単位を修得できます。また、これまで道内では札幌に行かなければならなかった単位認定試験を、函館大学で受験することができ、また本学の学生は、放送大学の教育課程から九科目を選択して学修し、単位として修得することができます。こうした学習によって、より高度な専門性を追求したり、資格取得のための学修に活用することができます。

六月一日には、「放送大学函館学習室（函館大学内）」のオープン式典が、設置主体である放送大学や函館市の関係者を集めて行われました。本学図書館は一般開放し、どなたでも蔵書を利用することができますが、放送大学の講義が自由に視聴できるよ

なったことで、ますます地域の文化の拠点としての役割が大きくなったと言えるでしょう。



函館大学の教育システム



「放送大学函館学習室」のオープン式典の様子



て、ゆつくりと話し合いながら、社会人・職業人としての心構えを養ってきたいと考えています。このようにして、これまでの就職率九二パーセント前後を一〇〇パーセント近くにまで高めるつもりです。

産学官連携事業に参画「函館・精鋭塾」がスタート

函館市内の若手経営者や後継者が集まる「函館・精鋭塾」が、昨年十月に本学に誕生しました。

「函館・精鋭塾」は、函館雇用創造促進協議会と本学が連携

して開設したもので、現役経営者らによる講演や、本学教員による経営戦略講義を、三年間実施する計画です。講座のカリキュラム作りや運営は、本学が担当します。

函館・精鋭塾



函館市内の若手経営者や後継者が集まる「函館・精鋭塾」の様子

今年度から教員の交換を実施 留学生数も大幅に拡大予定

海外姉妹校との交換留学生を十年以上にわたって派遣している函館大学ですが、昨年新たに短期留学を実施しました。八月十五日から九月十三日の約一カ月間、六名の学生がイギリスのウォルバー・ハンプトン大学で語学学習を行いました。

日本経済を勉強して、 中国で教えるようになりたい。

今年の四月から函館大学へ、研究員としてやってきた石秀梅先生。南開大学の日本研究院を卒業後に、南開大学浜海学院で日本語教師をしていました。

今回の留学の目的は、「大学で日本経済史を専攻していたので、学生の頃から日本の大学に来て経済の勉強をしたいと思っていた」そう、函館大学では商学や経済学・経済史の勉強をしています。

自身の勉強の他に、坂野先生の中国語の授業を手伝っています。「中国では日本語を学ぶ学生が多いけど、ここでは中国語の授業をとっている学生が少ないので寂しい」と言います。八月までの半年足らずの函大生活ですが、「日本経済の勉強を続けて、中国の大学で教えたい」というのが希望だそうです。



中国・南開大学浜海学院
石 秀梅先生

教員の交換留学で研究活動を強力に支援



国際交流委員長・教授
高橋 真

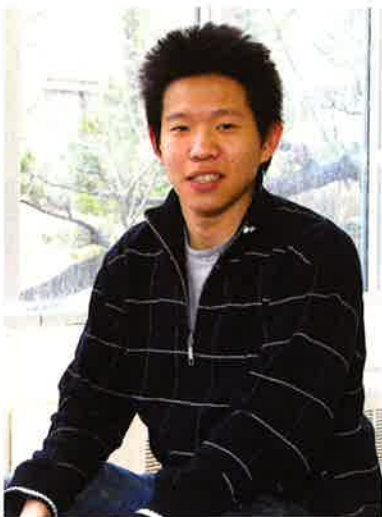
本学では、現在、アメリカに1校、オーストラリアに2校、イギリスに3校、中国に1校、韓国に1校の計8校と姉妹校提携を結んでいます。これまで交換留学生の派遣は毎年行ってきましたが、今年からかねてより希望だった教員の交換留学が実現しました。その第一号が、中国の南開大学浜海学院の石秀梅先生で今年四月から本学で学んでいます。また本学からは坂野学先生が、今年の九月から南開大学へ六ヶ月間赴き、中国文学の研究と合わせて講義を行う予定です。これによって、今後は海外との教員間の研究

交換や留学が盛んに行われるようになるのを期待するところ。また今年から、本学に留学している海外留学生をティーチングアシスタントとして、外人驚異音の授業に参加してもらおうとしました。これは、海外学生と日本人学生がふれあう機会を多くつくることで、互いの学生が学習のプラスにしてほしいと考えています。

毎年行っている短期海外留学は、今年はオーストラリアのニューカッスル大学へ、四週間の予定で実施します。交換留学生は八名程度を予定しており、従来より大幅に人数を増やし、できるだけ多くの学生に留学経験を与えたいと考えています。

今年度も海外留学生二人を迎え、昨年九月から一年間、本学で日本語を中心に勉強しています。今回の二人は、ともにアジア系の人で、人なつこい笑顔が印象的な二人です。

日本人は、 とても礼儀正しく親切です



チャナット・
タンティワットパニッチくん
(ハワイ・パシフィック大学)

私はタイの出身で、高校二年の時に、両親が私に英語を身につけるようにとオーストラリアに留学させてくれました。オーストラリアの高校を卒業して、ハワイ・パシフィック大学へ進学し、現在は三年生です。

大学では一年間日本語を勉強して、今回函館大学へ日本語の勉強のために来ました。今年の秋にハワイ・パシフィック大学に戻り、それから卒業となりますが、卒業後はタイに戻るつもりです。

タイの家は事業をやっているの、英語、日本語を役立てて事業を継ぐつもりです。日本人は、とても礼儀正しく親切で、好きです。函館で初めて雪を見たのも忘れられません。将来また日本に来たいと思います。

将来の夢は国際会計士

私は両親がベトナム人の、ベトナム系オーストラリア人です。オーストラリアには日本人がたくさん来ているので、日本語には自然と興味を覚えました。函館大学に留学してくる以前に、日本には三回観光できているので、親しみを持っていた国です。日本の伝統文化にも興味があり、函館大学では茶道もやらせてもらっています。

函館での生活や勉強に関しては、先生方が非常に寛大な気持ちで接してくれるので、とても感謝しています。函館での楽しみは、函館市内にいる留学生と友達になり、一緒にカラオケに行くことです。でもまだ、日本語の歌は歌えません。

私の希望は、大学で簿記の勉強をしているので、将来は国際会計士の資格を取って、日本の企業で働くことです。大好きな日本で暮らし、ビジネスもいろいろとできるように、これからも勉強したいと思っています。



リン・ホワン・リーさん
(オーストラリア・ニューカッスル大学)

留学生二人に 学長特別賞を授与

平成十五年九月から今年三月まで、中国南開大学から函館大学に留学していたサイ・キッカさんとチョウ・ボウさんに、学長特別賞が贈られました。

二年半にわたる長期の留学生活の中で、勉学に勤しみ、とりわけ日本語検定に合格した努力と成果。また課外活動でも大学祭での活躍など、その勉学態度と探求心は賞賛に値する、というのが表彰の理由です。

留学生への学長特別賞は初の授与で、二人は「たいへん光栄なこと」と喜んでいました。



2年半函館大学に留学していたサイ・キッカさんとチョウ・ボウさん

昨年を上回る九二・二%の内定率を確保

平成十七年度の就職実績がまとまりました。全国的に見て、企業の新卒採用は増加傾向にあります。地方の大学はまだ厳しい状況が続いています。そうした中でも、本学は昨年を上回る内定率を確保し、地方大学としてはかなり高い内定率を勝ち得ました。今年度から就職課は「キャリア開発課」に組織変更し、入学時から四年間にわたって、学生のキャリアデザインをサポートしていきます。

キャリア開発センターを設置し、一年次より手厚く指導

景気回復に加え団塊世代の大量定年退職を控えていることもあり、各企業とも採用枠を増やしたことから、採用面で明るい兆しが見え始めてきました。その影響もあり平成十七年度の就職内定率は九二・二%を確保することができました。地域や業種等にこだわらなければ就職を希望し、活動している学生はほぼ就職先を決めることが可能である状況になっていきます。求人受付件数をみますと北海道だけが若干減少し、他のすべての地



就職部長兼
キャリア開発センター長
教授 溝田 春夫

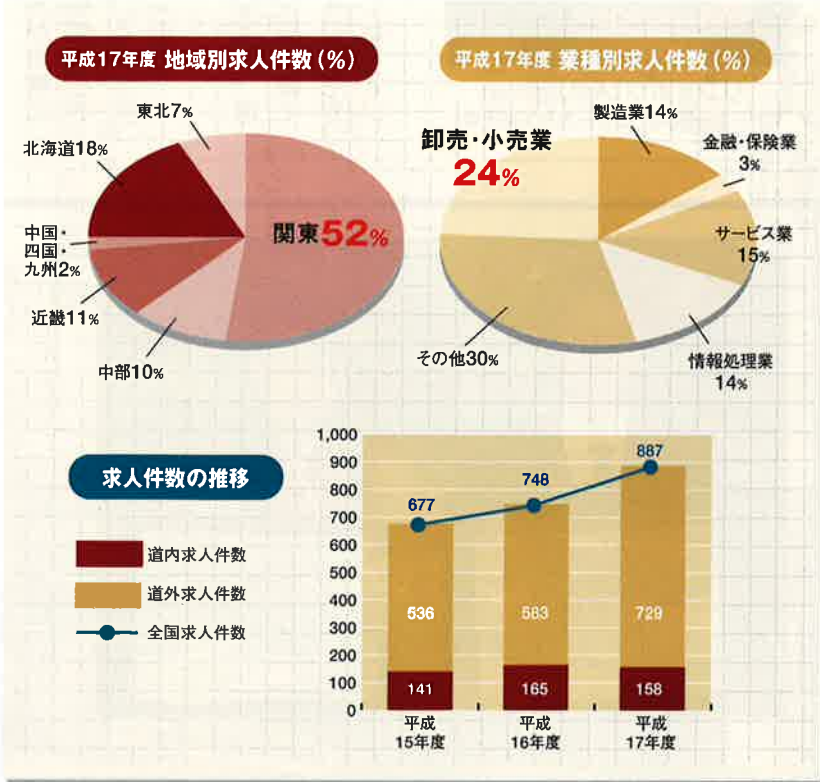
域で前年度増となっていることから、北海道の景気の回復が遅れているものの全国的には確実に景気が回復してきているようです。就職先を北海道に限定しなければ内定率はさらに上昇するものと思われれます。業種別ではほぼすべての業種に亘って求人数は増加していますが、特に情報通信業が急増しています。平成十八年度は学生にとってさらに良い就職環境になっており、例年になく内定が順調に進んでいます。



業界研究会は函館大学が独自に開催する合同企業説明会

今年四月から就職課はキャリア開発課として組織替えし、これまで以上に学生の就職に力を入れていく体制をスタートしました。キャリア開発センターではオープンカウンター方式にして学生が気楽に相談でき、利

用しやすいように工夫をしています。キャリア開発センター設置の目的は就職意識や職業意識について一年次から理解を深めてもらい、それに向けた準備を



早い時期から指導していくことが必要と考えたからです。したがって、従来は三年次に就職ガイダンスという形で就職指導をしていたのを一年次から就職意識を高めるための様々な施策を実施していきます。

昨年、フリーターやNEETの問題が指摘され、社会の大きな問題の一つとなっていますが、学生自身が生きがいのある人生を送ることができるよう、人生設計の一助になればと願ってキ

キャリア開発センターは設置されたもので、多くの学生の利用を期待しています。

今年度も五月末より来年二月まで三年次を対象に二十回にわたる就職ガイダンスをはじめ公務員対策講座、就職合宿セミナー、業界研究会など様々な就職支援を行っていきます。就職希望者の全員の完全就職を目指し、スタッフ全員全力で取り組んでいきます。

今春社会へ巣立った卒業生

大崎電気工業 株式会社入社
秋山 喜彦さん(福島県石川高校)

「今」を大切に!!



実際、大学を卒業してからもハンドボールを続ける事ができるかと思っていませんでした。大崎電気からスカウトが来た時、一驚を喫したと共に喜びと不安に駆られました。憧れのチームからの誘いに対する喜びと、自分がチームの勝利に貢献できるようなプレーヤーになれるかという不安です。しかし、ハンドボールから離れたくないという思いと「今しかできない事を、今やろう」という思いで入団を決意しました。

自分の希望が叶うことの難しい社会の中で、幸いにもチームメイトにも環境にも恵まれ、この中でハンドボールに携われる事を大変嬉しく思います。今後、ハンドボールと仕事を両立すると共に、チームの一員として大崎電気という会社を売り出し、そしてさらなる飛躍ができるよう実践修行していきたいと思っています。

伊田テクノス 株式会社入社
栄花 友彦さん(北海高校出身)

社会人になった抱負



私は四月より埼玉県にある伊田テクノス株式会社に入社しました。総合建設業として、関東を中心に事業を展開し、伊田グループ12社で、豊かな地域社会の発展に貢献しています。今は研修期間でグループ内の会社をいくつか回り、勉強させてもらっています。内容は、建設資材の営業、配車事務、現場管理、生コンクリート試験室、燃料部などです。また剣道部は実業団として活動をし、個人的には週四、五回稽古しています。六月に関東実業団チームや埼玉県警と練習試合をしています。部員には、大学時代に全国でスポットライトを浴びた選手がたくさんいます。チームは平成9年の関東大会以来優勝していません。私も自分自身を磨き、早く活躍できる選手になりたいです。仕事と剣道の両立は難しいですが、「報告、連絡、相談をしっかりする事」「受け身ではなく積極的に取り組む事」「常に疑問を持つ事」この三つを意識して日々やっています。そして、創造的な人間になっていきたいと思っています。

ホクレン農業協同組合連合会入会
松山 博之さん(室蘭大谷高校)

地域発展に貢献したい



私が入会したホクレンは、農業に携わる仕事ですが、私自身農業に関する知識は全くなかったため不安がありました。私は、北海道の経済発展に興味があり、北海道の企業で経済発展に携わる仕事がしたいという理由でホクレンを志望しました。内定式後は、毎月課題があり、課題を調べる中で少しずつ知識を得ました。その他には、同期などと連絡を取り合い、情報交換することから情報・知識を得ていき不安解消させました。初めから何でも知っている人間はいないと思います。だからこそ、人から情報を得たり自ら進んで経験したりして、情報や知識・知恵を学ぶ事が大切だと感じました。そして、自分を一回りでも大きく成長させたいと自身に言い聞かせています。

『就職活動も出会いが大事!!』



株式会社ほくやく
人事部主任杉村秀徳さん
(第27回生 1995年3月卒)

私が勤務する「株式会社ほくやく」は、北海道No.1の医薬品卸として、全道各地の病院や薬局をはじめとする各医療機関などに、医薬品を中心とした「健康」や「命」を守る生命関連商品を流通している会社です。

12年前、当時の採用担当者などの人柄に惹かれこの会社を選んだ私が、今は人事部で採用担当の仕事をしています。入社してから、商品の配送・保管業務、営業活動など支店での経験を経て経理部に、そして現在の人事部へと至っています。部署が変わるたびに新たな事を学び喜びと同時に、大きな苦労も味わいました。しかし、その度に上司や先輩方をはじめ多くの方々に支えられ、一つひとつ壁を乗り越え成長することで、今の自分に辿り着くことができたのだと思います。そして心から「この会社に出会えて本当によかった」と言えます。

ぜひ、後輩の皆さんにも、振り返った時にそう思える会社と出会い、そこでプライドを持って仕事をしてほしいと思います。そのために悔いを残さない就職活動にしてください。



函館大学へのアプローチ

アプローチはいろいろ 多様な入試制度を用意

推薦入試 指定校推薦、一般推薦の他に、商業科などの専門学科や総合学科の推薦枠も設けています。調査書および面接の結果を総合して合否を判定します。(学科試験免除)



AO入試 面接を重ねながら、本学の教育内容と本人の希望をすりあわせ、十分に納得したうえで入学してもらうことを目的とした制度です。日程を3期に分け、受験のチャンスを広げています。

試験入試 学科試験は、6科目から2科目を選択します。簿記も選択できるので、商業科の生徒も受験しやすくなっています。また、得点によっては特別奨学生としての特典を付与します。



編入学入試 出願資格確認のため、お早めにお問い合わせください。

社会人入試 函館大学では社会人学生を受け入れています。

函館大学では、学びたいという意欲を持った若者に、広く入学の機会を与えるために多様な入試制度を用意しています。高校生の受験においては、基本的に推薦入試、AO入試、試験入試の三つがあります。それぞれの特長を見てみましょう。また、編入学入試、社会人入試もあります。

Table of admission methods: 指定校推薦入試 (50名), 一般推薦入試 (20名), 専門学科・総合学科推薦入試 (10名). Includes selection methods, conditions, and exam dates.

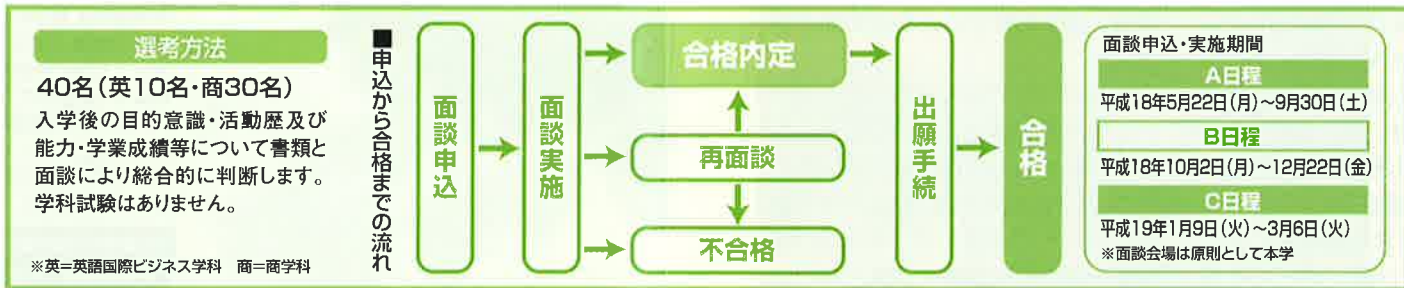


Table of exam admission details: 75名 (英20名・商55名). Includes exam subjects, dates, and special student awards.

Table of transfer admission details: 若干名. Includes conditions for transfer and exam dates.

Table of social adult admission details: 5名 (英2名・商3名). Includes selection methods and exam dates.

入学までのフォローアップ体制を強化 青森での試験入試を日程追加

最近の入学生傾向を見ると、女子学生の増加と東北地方からの入学者が増加しています。女子学生の増加は、昨年度英語国際ビジネス学科を新設したことが反映し、道南の英語教員志望者の受け皿になっているからと考えられます。



入試部長・助教 松喜美夫

地域別に入学者数を見ると、青森県が道南地域について2番目となっているため、従来青森で1回だった試験入試を3回に増やしました。函館・青森を青函圏ととらえ、同心円的な広がりを作る考えが、効果を生んできたと言っているようです。

また、今年度3回開催予定のオープンキャンパスでは、ミニ講義を行い大学の授業を体験してもらったり、参加者1グループに担当教職員をつけ、マンツーマン体制で入学相談などのフォローアップをするといった、新しい試みを始めます。

2006 函館大学 オープンキャンパス. Includes dates for the 2nd and 3rd sessions and a list of activities.

- 1 大学の概要、入試要項説明
2 キャンパスツアー
3 ミニ講義
4 個別相談
5 学生宿舎見学
6 資料・記念品配布

函館市外からの参加者は函館市までの交通費を本人分に限り3万円を上限に補助いたします。(当日印鑑を持参してください。)

北海道虻田高等学校

私の母校、虻田高校には商業科と事務情報科の二つの学科があります。

商業科では、商業に関する知識や帳簿記入の仕方、電卓・文書作成などの実務に必要な技術を学びます。事務情報科ではコンピュータによる事務処理の知識や技術を学びます。



大廣 陸さん(2年)

虻田高校では、特に資格の取得に力を入れています。英語検定や漢字検定、数学検定などはもちろん、簿記検定、情報処理検定、国家資格の初級システムアドミニストラーターなど、様々な資格の勉強がで

きます。私も高校三年間で日商簿記二級をはじめ、たくさん資格を取ることができ、大学の勉強にも役立っています。高校三年間で学んだことは、とても多く大切なものです。この思いを大学生活でも生かして、これからも頑張っていきたいと思えます。

普通科と職業科の教育を柔軟に連携



校訓は「明朗 誠実 努力」。現在は全日制の普通科、商業科、事務情報科の3科となっている。珍しい事務情報科は、基本的ソフトの操作から、プログラミング、情報の管理・分析方法そして簿記まで幅広く学ぶ。普通科でも簿記や情報処理の資格取得の機会があり、職業科と併設されているメリットを生かしている。またボランティア活動にも力を入れ、毎年開催される洞爺湖マラソンでは、全校生徒がボランティアに参加し、地元特産品の販売実習を行うなど、地域の連携した教育を実践している。

北海道虻田高等学校 創立:昭和27年
北海道洞爺湖町高砂町127番地5
TEL (0142) 76-2540 FAX (0142) 76-2887

北海道江差高等学校

私の母校江差高校は、単位制普通科の二年生百八十人ほどの学校です。校訓は「学業集中」で勉学に励んでいます。勉強だけではなく、体育祭や文化祭も他校とはひと味違います。



岩澤 宏樹くん(2年)

体育祭では、伝統である江高体操というのを二年生が行い、三年生は民謡を踊ります。文化祭は鶴稜祭と呼ばれていてクラス対抗で競います。秋のマラソン大会は「いもっ子マラソン」といい、上位三クラスには賞品として、サツマイモがもらえるというユニークなも

のです。どれも伝統的な行事で、クラス・学年・学校がつとになって取り組むすばらしい行事です。江差高校で過ごした楽しかった日々、出会った友人を大切に、これからの大学生活を送りたいと思っています。

単位制高校として特色ある科目を設置



創立75年に及ぶ長い歴史を持ち、平成16年度からは道内で4校目となる全日制普通科単位制高校として、新しい歴史をスタートさせた。これまでの普通科科目の他に、大学受験対応科目や、商業科目を学校で設置し、さらに習熟度別授業など、生徒の目的にあった学習ができるように工夫されている。また、今年から地域社会の文化や芸術を学ぶ目的で、学校設定科目に「江差追分」を加えるなど特色ある授業を展開している。校訓は「学業集中」で、「知性に富み人間性豊かにたくましく自己実現する生徒」を目指す生徒像に掲げ、部活、生徒会、ボランティア活動などの教育活動から人間形成に努めている。

北海道江差高等学校 創立:昭和5年
北海道江差町字伏木戸町460番地1
TEL (0139) 53-6224 FAX (0139) 53-6225

出身校紹介 北から 南から

弘前学院聖愛高等学校

私の母校、聖愛高校は、明治十九年の創立で百二十年の歴史があり、平成十二年に女子校から男女共学となりました。

現在は普通科と特別進学コースがあり、英語教育に力を入られ、聖愛海外教室というのがあります。これは二十年以上も前に誕生した制度で、国際化時代における国際理解を目標に、実践英語を学び国際感覚を身につけるためのものです。また毎年、英語暗唱大会が行



藤田 美羽さん(3年)

われ、私も出場したことがありますが、この大会への出場によって英語に対する興味が深まり、今函館大学で英語を学びきっかけにもなりました。

とって掛け替えのないものとなりました。函館大学でも、多くの仲間や先生方との出会いを大切にして、四年間の大学生活を大切に過ごしたいと思っています。

百二十年の伝統を持つキリスト教主義私立高校



明治19年創立で、120年の伝統を持つ、キリスト教主義私立高校。キリスト教精神に基づき「世界の平和と人類の福祉に貢献しうる健全な人間を育成する」ことを教育目的としている。学科は普通科のみだが、1年時から進路希望別コース制をとり、就職、専門学校、短大、大学など多様な進路の達成を目指す一般コースと、国立大学、難関私立大学の進学を目指す特別進学コースからなる。一般コースは2年次より、一般系、英語を特化した英語・英会話系、看護医療系の進学と部活動の両立を目指す看護進学系に分かれる。英語教育には定評があり、英語検定準2級はもちろん、2級の取得者も多い。

弘前学院聖愛高等学校 創立:明治19年
青森県弘前市大字原ヶ平字山元112の21
TEL (0172) 87-1411 FAX (0172) 87-1413

東京駒場学園高等学校

私の母校、駒場学園高校は普通科と食物料があります。教育方針は四海に通じる若者の育成を掲げています。生徒一人ひとりの個性を伸ばし、学識を養い克己心を高め、国際社会に貢献する若者を養成する教育が行われています。

学校行事では、若駒祭の文化祭が最大のイベントで、中でも食物料が開く料理の模擬店は、行列ができて売りきれられるほどの大盛況です。二年時の、御殿場にある分校でのクラス合宿、海外体験旅行も楽しい思い出です。部活動ではアメ



濃沼 大貴くん(2年)

リカンプトボール部、新体操部、チアリーディング部などが、毎年優秀な成績を修めています。先生方は一人ひとりを大切に指導していただき、高校で学んだことを糧に、また学び続けて、充実した大学生活を送りたいと思っています。

伝統を受け継ぐ私立・単独高校



教育目標の「四海に通じる人間形成の確立」は、多様化する価値観の中でも変わらぬ真理を求めるとともに、国際社会に通用する資質の育成を目指す。普通科と食物料の2科があるが、普通科は一般コースと特別進学コース、国際情報コースの3コースがある。高校では珍しい食物料は、卒業と同時に調理師免許を取得することができる。2年時には食の本場フランス・イタリアへの体験旅行など、魅力ある行事も豊富だ。

東京駒場学園高等学校 創立:昭和22年
東京都世田谷区代沢1丁目23番8号
TEL (03) 3413-5561 FAX (03) 3795-9068



函大入学時から教職志望 夢は高校野球の指導者

駒澤大学附属苫小牧高等学校教師・打田 圭司さん（平成五年卒業）

絶対教師になりたくて 在学中は必死に勉強しました

今年の四月、あの夏の甲子園大会二連覇を達成した駒澤大学附属苫小牧高等学校に赴任。同時に野球部部長に就任した打田圭司さん。教師としては、情報科目を教えています。

三重県出身の打田先生は、鈴鹿高校野球部で外野手。中学・高校で一緒に野球をやった仲間に、現在シャイアツツのストッパー、豊田清投手がいます。

函大に進学してからは、野球よりも「教師になると決めていました。函大時代は、勉強とアルバイトの生活でした」と、振り返る打田先生。「経済的に親に負担をかけたくなかったので、とにかく在学中に絶対採用試験に合格しようと、必死に勉強しました」。特に三年生の時は、「一日八時間は勉強した」と言います。

採用試験に合格したときは、当時函大では十年ぶりくらいの合格者だったそうで、「先生方もたいへん喜んでくれた」そうです。

打田先生にとって教師になる夢は、イコー



駒澤大学附属苫小牧高等学校教師・打田 圭司さん

ル高校野球の指導者になる夢でもありません。函大卒業後、北海道の浦河高校に赴任。そこで十一年間勤務。その間、八年間野球部の監督を務めました。

浦河時代は「今年度から参事となった濱谷先生（p19参照）が、当時様似高校の教頭先生で、函大の先輩としていろいろ教えてもらいに行きましたよ」。函大OB

では、現在鶴川高校野球部長の小野寺先生とも親交があるそうで、道内の高校野球強豪校である両校を、函大OBが支えているのは、たいへん嬉しいことです。

感謝の心と 人間としての驕 それを教えていきたい

駒大苫小牧高校の野球部員は、現在百五名もいるそうです。その野球部の責任者が、部長である打田先生です。「部長は、正式に言えば責任教師です。分かりやすく言えば、部の担任です

ね」。監督は選手の指導者で、学校・父母・マスコミなど対外的な対応はすべて部長の仕事と言います。

駒大苫小牧高校野球部長就任は、浦河高校監督時代から駒大苫小牧高校と練習試合を行うなどして香田 晋士史監督と親交があり、香田監督から直々に部長就任の要請を受けたからだそうです。

普段の生活は、朝七時から八時まで朝練習、その後、職員打ち合わせから授業に移って、放課後は午後三時半から七時半まで練習。もちろん試合や大会はすべて引率。

「目配り気配りを心がけていますが、正直心休まる暇はない」そう。野球を通して生徒に教えたのは、「人への感謝と、社会人になるための驕です。社会に出てから、きちんとした人間だと評価されること、野球で評価されるのではなく、人として評価される人間を育てるのが私の役割」と言います。

一昨年の優勝で有名になった、人差し指を突き上げるポーズ。「あれは、みんな一つになろう、心をついにしようという意味なのです。決して、一番を誇るものではないですね。そのことをしっかり教え、謙虚に真剣に野球に取り組んでほしい」と、奮る気持ちになることを打田先生は、もっとも戒めるそうです。

唯一の息抜きは、一歳の一人息子と接するとき。「ありきたりですが、息子とキャッチボールをする日がいまから楽しみです」と語る顔は、子煩悩な父親の顔になっていました。

函大ing Club Topics

クラブ活動も盛んな函大では、 たくさんのクラブが活躍しています。

函大を元気にしてくれる、元気なクラブの話題をお届けします。

男子ボウリング部

男子ボウリング部悲願の全国制覇 京産大の十三連覇を阻む快挙

昨年十二月に行われた第四回全日本大学ボウリング選手権大会において、函館大学ボウリング部男子が、悲願の全国優勝を果たしました。この大会では、京都産業大学が

十二連覇中と強さを誇っていましたが、函大もこれまで準優勝三回、二位一回と実力は伯仲。顧問の西村淳先生は「いつでも優勝できる力はあると思っていた」という程、その実力は周囲も認めていました。

この大会で、函館大学は一回戦で京産大に百五十六ピン差の四位と出遅れましたが、決勝戦に進んだ時点で十五ピン差まで追い上げ、決勝戦でついに逆転。ついに京産大の厚かった壁を破り優勝を手にしたのです。

優勝の要因としては、大学の外部指導者を招く制度により、岡部直治プロを招待。四日間指導してもらい、細かな

ポイントを指導してもらったこと。例えば、練習場になっているボウリング場のレーンの不具合を指摘され、レーンを新しくしてもらうなど、練習環境も改善されたことが、本番での実力発揮につながったようです。

優勝の原動力となった主将の鈴木大介くん（仙台育英学園高校出身）は、「決勝戦に進んだ時点で、もう優勝しか頭にありませんでした。みんなが自分たちのボウリングに集中し、最高のチーム戦ができました」と、メンバーの気持が一つになったことを強調します。

この優勝によって、函大男子ボウリング部は、平成十七年度の函館市スポーツ賞も受賞。その栄誉を讃えられました。昨年の優勝メンバー六人の内、五人が今年以降も残るので、連覇も夢ではありません。練習にも、ますます熱が入っています。

少林寺拳法部

少林寺拳法国際大会で 松井・上山組優勝、七戸・佐藤組は三位



左から佐藤さん、上山さん、七戸さん

四年に一度開催される少林寺拳法国際大会において、函大少林寺拳法部の松井 芙美子さん（今春卒業・新潟県西新発田高校出身）と上山 清美さん（三年・大阪福島女子高校出身）のペアが、見事三段以上の部で優勝を果たしました。

この国際大会は、昨年の十月に福井県で開催され、函大からは松井・上山組の他、二段の部で七戸 梢さん（二年・青森県五所川原第一高校出身）と佐藤智恵さん（一年・新潟県新津南高校出身）が出場。

四年に一度開催される少林寺拳法国際大会において、函大少林寺拳法部の松井 芙美子さん（今春卒業・新潟県西新発田高校出身）と上山 清美さん（三年・大阪福島女子高校出身）のペアが、見事三段以上の部で優勝を果たしました。

七戸・佐藤組は、二段の部で三位に入賞しました。

国際大会出場には、もちろん国内大会を通過しなければならず、二組とも国内大会で優勝して国際大会に出場。上山さんは「国際大会初出場優勝できてうれしい」と素直に喜びを語っています。後輩の佐藤さんは「先輩を目標に頑張りたい」、七戸さんは「いつかは先輩を追い越したい」と、少林寺拳法にかける思いを新たにしているようです。

今春卒業した松井さんは、就職のために郷里の新潟県へ戻りましたが、後輩たちには「学ぶ姿勢を大切に、努力を続けてほしい」との言葉を残してくれました。



松井さん



悲願の全国優勝を果たした男子ボウリング部員

バスケットボール部

女子バスケットボール部
元立命館大学監督の高橋さんが就任

一昨年に誕生した函大女子バスケットボール部。昨年は創部二年目で道学生リーグ一部昇格を果たすなど、その力はすでに全道トップレベルにあります。

その戦力は、高校では道内強豪校の函大柏稜高校出身者が主力メンバーを占めています。そして昨年八月に、元立命館大学女子バスケット監督の高橋孝太さんを監督に迎えたことも大躍進の要因にあげられます。



就任した高橋孝太新監督

高橋監督は、選手としてはバスケットボールの名門・秋田能代工高から日大を経て、熊谷組に入社。実業団チームで活躍しました。その後、平成十年から五年間、立命館大学女子バスケット監督を務めました。その後一旦はバスケットボールからは離れたが、能代工高の先輩で函大柏稜高校女子バスケット監督の伊藤修一さんからの紹介で、函大の監督に就任することになりました。



高橋監督の指導は「能代工高の考えと同じ」。それは「バスケットに取り組み姿勢、練習に取り組み姿勢、仲間への配慮、お世話になった方々への感謝の心、そうしたものがチームの力となり、成績は結果にしかすぎない」と言います。そのため、毎日の練習は基本の反復練習ばかりで、「その辛さに耐えることで体力・能力そして自信がつくのだ」と言います。函大の監督を引き受けたのは、「選手たちにも言っています、試合毎にチームの歴史を作り、毎年

成長していく喜びを味わえる。そこにやりがいを感じました」。

大学職員としての高橋さんは、キャリア開発課に在籍。「この仕事でも、学生たちには社会人としての基本になることを教えていきたい」と思っています。

ハンドボール部

ハンドボール道学生選抜チームに
函大から十四名選出、欧州遠征へ

ハンドボール道学生リーグ一部で、二十年間負け知らずの一九四連勝(二分けを挟む)を続ける函大ハンドボール部。今年の二月に、ハンドボール道学生選抜チームとしてヨーロッパに遠征するメンバーに、函大から大量の十四人が選ばれました。

道学生選抜チームは、十二日間の日程でドイツやフランスを回り、プロチームの試合観戦や、プロチーム(三部と五部)との親善試合などを行いました。

選抜されたメンバーを代表して、U-23日本代表候補の宮島竜二くん(四年・富山県



IT専攻塾
IT専攻塾のグループが
U-20プログラミングコンテストで優秀賞

経済産業省などが主催する昨年の「U-20プログラミングコンテスト」で、IT専攻塾の六人の有志で作ったグループが、団体優秀賞(経済産業大臣賞)を受賞しました。

電話で路線バスの運行状況が分かるというシステム。分かりやすく言えば、自分が待っているバスがどこを走っているか、あとどれくらいで到着するかが分かるようになってきます。

これは、「冬の季節、寒い中バスを待つというのが辛い」という、みんなの共通の思いから発想したものだそうです。全員がプログラミングを一から勉強してスタートしたそうで、「IT

塾の若松先生、津金先生、田中先生には本当にお世話になりました」と口をそろえます。それと、大学の試験と応募が重なり、締め切り直前は真夜中までの作業が連日続いたそ



賞状

団体優秀賞

「バス参る、」

函館市十軒堂

あなほまちまち

U-20プログラミングコンテスト

において優秀賞を受賞した

よこみたにを賞します

平成二十七年十月三日

経済産業省 中川昭一

高岡向陵高校出身に話を聞くと、「プロリーグ三部と五部のチームと対戦して、正直日本の学生の方がレベルが高いと思った。スピードで相手を崩せたので、それが自信になりました。ただ、ヨーロッパの選手は個人の身体能力が高いこと、そして闘争心が強いのが勉強になりました」。

このヨーロッパ遠征に帯同した函大・松監督は、「遠征した十四人がそれぞれレベルアップしたと思う。この経験を生かして、道学生リーグ部の四十連覇を目指したい」と、思いをリーグ戦に向けていました。



学生選抜チームに選ばれた14名

函館市の町づくり

熱意を持つ学友会総務局長 重山 喜重くん

昨年の大学祭実行委員長を務めた重山喜重くん(三年・函館商業高校出身)。入学してすぐに学友会に入り、一年生で大学祭実行委員を経験しました。昨年の大学祭ではJA新函館の協力で野菜の朝市、JRAの協力でミニチュアポニーとのふれあい、母校の函館商業高校の模擬店、市内戸倉中学のヨサコイチームの踊りを踊ってもらうなど、新しいアイデアを取り入れました。「大学が地域との連携に力を入れているので、大学祭もその方針でやりました」。



学友会総務局長を務める、重山喜重くん

大学の外でも、今年から函館市青年サークル協議会に参加し、事務局次長を務めています。この協議会は社会人・学生のサークル活動の集まりで、函館の町づくりを考える若者たちの会です。

重山君は「生まれ育った函館が好きだし、函館の活気づくりにも協力したい」と思っています。こうした思いを持った学生は、函館大学には多いですよ」と言います。



学友会の打合せ風景

濱谷 清治参事

三十六年ぶりに母校・函大へ



濱谷 清治参事

今年度の機構改革により、学生課と教務課が一つになり学務課となりました。その学務課の参事に就任したのが、濱谷清治さんです。

濱谷さんは函館大学二期生(昭和四十五年卒)で、卒業と同時に教師として沼田高校を振り出しに、最後は釧路商業高校の校長として今年定年を迎えました。函館には函館商業高校勤務時代から六年ぶり、函館大学は卒業以来実に三十六年ぶりになります。

濱谷さんは「教師生活三十六年間の経験や人脈を、学生指導や入試活動に役立てていきたい」と言い、「この函大から北海道の教育を支える教員を、より多く輩出するようお手伝いしたい」と抱負を語ってくれました。

学生時代は、学友会活動に一生懸命だったといい、三年生だった昭和四十三年の十勝沖地震が最大の思い出だそうです。「校舎の一階が潰れてしまいました。当時の学長(創立者・故野又貞夫)が、大学は中断しないと、現在の函館短大で授業を再開しました。学生たちも授業は続けるぞ、と一つにまとまって再興しました」。

函館に戻っての楽しみは、と聞くと「無趣味」とは言いながら、「休みの日はドライブがてら温泉に入るのが好きですね。函館近郊には温泉が多いので、楽しいです」。

卒業生が定年を迎えて母校に戻ってきた……函大の四十年に及ぶ歴史を改めて感じますね。

函館新聞に掲載されました

大弁論部の原稿が



弁論大会について語る、石山愛さん

函館大学が毎年行っている弁論大会で発表した原稿が、函館新聞に四回にわたり掲載されました。掲載されたのは、函大弁論部の部員四名の原稿で、そのうちの一人、石山愛さん(四年・新潟市立沼垂高校出身)に話を聞きました。

石山さんは一年生の時に弁論大会を聞き、弁論部員が自分の考えを一生懸命に伝えようとする姿に感動し、弁論部へ入部したそうです。弁論部の活動を始めてから、「人の話を聞こう、人に分かりやすく話そう、

と普段から自然と意識するようになりまし。そして、自分に自信ができてきたのが、大きな収穫です」と、充実した表情で語ってくれました。

さて、函館新聞に掲載された原稿は「七色の町」という題で、石山さんが函館で暮らして感じた七つの魅力を紹介しています。その一つひとつの魅力がバラバラではなく、つながってあげれば虹の



2006年(平成18年)1月27日の函館新聞掲載記事より

大の聴講生 佐原文さん、みごと英検準一級に合格

昨年の四月に聴講生として、函大で「商業英語」を学んでいた佐原文さんが、今年二月の英検受験で、見事準一級に合格しました。

佐原さんは函館市内の高校を卒業後、東京の大学に

ようにより魅力的な街になる、と提言しています。「新しくなっていくのもいいけど、函館ならではの歴史・文化を生かして欲しい」と。函館が大好きになったからこそ、その良さを消さないでという石山さんの思いが伝わってきます。



聴講生で英検準1級に合格した佐原さん

進学。大学在学中に英検二級を取得してました。「大学を卒業してから、もう一度英語を勉強し直したい」と思っていたところ、函館大学で聴講生制度があるのを知り受講しました」と言い、学んでいるうちに「忘れていたことを思い出してきた」そうです。

準一級合格の決め手は、ズバリ「英検にそった授業」で、「文法の勉強もしっかり指導してもらえた」ことです。

聴講生には、佐原さんの他にも、主婦で聴講生として学んでいる人が六名程おられます。そうした人たちと一緒に勉強することも、励みになったと言います。「学生時代は、勉強をやらされていると感じていましたが、自分が勉強したいと思つて勉強すると、習得が早いし、楽しいです。これからは翻訳の勉強を本格的にやりたい、という佐原さん。向学心はますます強くなっているようです」。



元東洋信託銀行副社長をはじめ、まさに金融、経営の最前線に立ってこられた先生が行う「実践ビジネス論」では、どんなことを教えているのですか。

磯村 ● 大学では、経営、金融、証券、法律など、それぞれ専門の先生方が理論をきちんと教えられますね。そうした専門的知識を学んでいる他に、では実際のビジネスではそれらがどう絡み合うのかを、私なりの経験

「函館大学には母校以上に、愛着を感じています。」

コメントーターとしてテレビ出演や、現在東京都金融広報アドバイザーなど、多方面で活躍されている磯村先生。函館大学での教授歴も十年に及びます。「函館大学は母校以上の存在」と語る磯村先生に、お話を伺いました。

磯村 ● いえいえ、自分の失敗を繰り返してほしくないから、若い人に自分の経験を話しているんです。でも今は、とにかく世の中のスピードが速いので、それに順応できる能力が必要です。若い人は、さすがに順応力がある。私はもう、だめですね。でも、どんな時代でも変わらないビジネスの基盤があります。それは一言でいうと、人からの信用です。人の信用を得るには、まず約束を守る。きちんと話ができるコミュニケーション能力。そして、自分の得意なもの、独自性を持つ。この三つが大事だと思いい、学生たちに伝えていきます。私も本当にたくさんの人から教えてもらいながら、この

磯村 ● 七十三歳になりました。函館大学の客員教授となつて十年にもなります。早稲田大学や母校の滋賀大学で教えていた時期もありますが、今では母校より函館大学の方が愛着がありますね。テレビや新聞、雑誌などにいる場合も、函館大学客員教授という肩書きを使っています。マスコミ側からは、他の肩書きをと言われ



磯村 ● 学生数としては、小さな大学ですから、みんなとの距離感が非常に近く感じますね。それはきっと、教職員の方の面倒見も良いからでしょうね。それと学生たちが、学内ですれ違ふときに、みんな「こんにちは」と挨拶してくれます。こんな大学は、他にないですよ。そういうこともあって、この学生が可愛く思えるし、大学に強い愛着を感じているんじゃないかな。

平成十八年度の公開講座

今年度(平成十八年度)は

新たに「韓国語講座」を開講予定です



公開講座実施委員長
教授 今井 敏博

地元地域に学術・情報の提供・発信をするという基本理念のもとに、本学はこれまで様々な講座を企画開催してきました。昨年度の文化講演会は、小樽山博氏の「何のために学ぶか」という演題で講演をスタートし、恒例の教養講座は、本学新任の三先生の「披露を兼ね、金山健一専任講師」日本の学校教育と青少年の現状「心理学の視点から」、韓文熙専任講師「韓流と日韓の未来」、大橋美幸助教「認知症を知るー認知症の人の思い、家族の思いー」の講座を連続で実施し、そして最後にスコット・ハーディ専任講師「使つてはいけない英語ーネイティブスピーカー

はどんなときに使いなせ使うのか」という演題で実施しました。他に、すっかり定着しました「英検受験対策講座」、渡邊功プロによる高校生向け「夏季テニス講座」を実施しました。

今年度の公開講座は、高月晋教授、スコット・ハーディ専任講師、ドナルド・ミラー専任講師による「英検対策講座」に始まり、文化講演会は、義家弘介氏「夢は逃げていかない」。夏季にテニス講座、秋季には昨年度に引き続き、本学教員スタッフによる専門分野を中心とした内容の教養講座を実施する予定です。

なお今年度特記すべき企画として、韓文熙専任講師による「韓国語講座」を八回にわたり実施する予定です。

平成17年度 学校法人野又学園決算書

資金収支計算書 (自平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) (単位:千円)

資金収入の部		資金支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	2,319,168	人件費支出	2,026,750
手数料収入	39,869	教育研究経費支出	858,255
寄付金収入	2,413	管理経費支出	307,074
補助金収入	930,860	借入金等利息支出	27,964
資産運用収入	15,139	借入金等返済支出	205,298
事業収入	92,525	施設関係支出	102,596
雑収入	99,352	設備関係支出	52,133
資産売却収入	70	資産運用支出	169,288
前受金収入	462,796	その他の支出	248,106
その他の収入	470,069	資金支出調整勘定	△147,023
資金収入調整勘定	△614,686	次年度繰越支払資金	339,503
前年度繰越支払資金	372,367		
資金収入の部合計	4,189,942	資金支出の部合計	4,189,942

消費収支計算書 (自平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) (単位:千円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒納入金	2,319,168	人件費	2,036,750
手数料	39,869	(内退職給付引当金繰入額)	(12,268)
寄付金	2,413	教育研究用経費	1,107,783
補助金	930,860	(内減価償却額)	(249,529)
資産運用収入	15,139	管理経費	368,402
事業収入	92,525	(内減価償却額)	(61,327)
雑収入	99,352	借入金等利息	27,964
資産売却差額	86	徴収不能額	3,898
帰属収入合計	3,499,412	資産処分差額	2,924
基本金組入額合計	△299,230		
消費収入の部合計	3,200,182	消費支出の部合計	3,547,721
		当年度消費支出超過額	347,539
		前年度繰越消費支出超過額	6,531
		基本金取崩額	837,662
		翌年度繰越消費収入超過額	483,592

貸借対照表 (平成18年3月31日現在) (単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	17,213,927	固定負債	1,269,198
有形固定資産	(11,720,089)	流動負債	729,861
その他の固定資産	(5,493,838)	負債の部合計	1,999,059
流動資産	523,079		
		基本金の部	
		科目	金額
		基本金	15,254,355
		基本金の部合計	15,254,355
		消費収支差額の部	
		科目	金額
		翌年度繰越消費収入超過額	483,592
		消費収支差額の部合計	483,592
資産の部合計	17,737,006	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	17,737,006

平成18年度 公開講座実績

2006 函館大学文化講演会

講師 義家弘介氏

日時 平成18年6月20日(火) 16:30~
会場 本学
演題 「夢は逃げていかない」



平成17年度公開講座実績

- | | |
|---|---|
| <p>第1回
「日本の学校教育と青少年の現状」
ー心理学の視点からー
日時 平成17年10月31日(月)
16:30~18:00
講師 本学専任講師 金山健一</p> | <p>第2回
「韓流と日韓の未来」
日時 平成17年11月7日(月)
16:30~18:00
講師 本学専任講師 韓文熙</p> |
| <p>第3回
「認知症を知る」
ー認知症の人の思い、家族の思いー
日時 平成17年11月14日(月)
16:30~18:00
講師 本学助教 大橋美幸</p> | <p>第4回
「使つてはいけない英語」
ーネイティブスピーカーはどんなときに使いなせ使うのかー
日時 平成18年2月6日(月)
16:30~18:00
講師 本学専任講師 スコット・ハーディ</p> |